

Narromine News 2015

WinterSession

Shinzo in Texas

4年ぶりのナロマイン (Ideo)

Narenkai Report

2015, 9. 7 Winter session Report DAY 20 Final

理科大Naokiです。私を含め、今回の遠征メンバー全員が無事に帰国しました。遠征中は、沢山の激励ありがとうございました。みなさまのお陰で、無事に遠征を終えるとともに、大きな成長という土産を持ち帰りました。今回の成長は、明日のクラブの成長そのものです。みなさんのハートを熱くするクラブとなるでしょう。引き続き、みなさまのご支援、よろしく申し上げます。是非、閑宿に来て、我々の成長を肌で感じてください。

Naoki

東工大のShunです。Day20のleaderになったのでNaokiさんに代わって私がDay Reportを送ります。東工理科チーム7名(Shun, Hiro, Shunta, Yoshi, Gishi, Johnson, Yohei)は全員無事に日本に到着しました。

これからMemberのNarromineで得られたincomeを紹介するので是非ご覧ください。
Shun: 今回のNarromine遠征でグライダー操縦をする際に頭で考えるのではなく、感覚的にイメージを作ることを学びました。

Hiro: 本日、無事2015Narromine Winter Sessionが終了しました。今日のタスクである『家に着くまでが遠征』は達成されました。

帰国に際して、ダボ空港でのウインドソックスを見てwind 29 at 5?8knotでR/W05take offにcrosswind厳しいなと感じたり、羽田シドニー便での上下動に対し敏感に反応できたり、羽田landingに向けての機体の場周経路から降りるR/Wを予想したり、『1日中イメージフライト』というサブタスクも達成できました。

今回の遠征で学んだ3S(特にSelfmanagement)と1人前のPilotになるための1.2.3.4.

今までデイリポで報告してきた自分のincomeを後は日本でも実行するのみです。

最後に、ナロマインと一緒に生活を共にしたみなさん、このデイリーレポートに激励をくださった方々、また、日頃からグライダーの活動へご支援をくださるOB・OGの皆様に、感謝の気持ちを伝えたいと思います。

本当にありがとうございました。そしてこれからもよろしく申し上げます。*Shunta*: 理科大のShuntaです。帰りはShunのリーダーが際立っておりスムーズに行動出来ました。自分もようやく先読みができるようになってきたのであくせくすることなく行動できたのが収穫ですね。

余談ですが、帰りの飛行機で水平線を見ていると、エンジンカバーの位置でピッチがわかり、新鮮でした。

Yoshi: 無事帰国しました！Narromine遠征の二週間で得た1番のincomeは『操縦を学ぶことだけがグライダーじゃない』ということです。先読み、周りを見るということを、この先もずっと続けていきます。

Gishi: 理科大1年のGishiです。ナロマインから無事帰国しました。飛行機内でのイメトレ中、鮮明にナロマインの風景が見えました。それでは。

Johnson: フライトの反省点ばかりではなく、incomeを皆で共有すること。また、課題を明確にしてより精度の高いイメトレをすること。ナロマインで学んだ事はたくさん

ありますが、特にこの2つを学べた事が最大の収穫になりました。何と云っても、オーストラリアの空を飛べた事が楽しかったです！

Yohei: 理科大のYoheiです。無事に帰国しました。しかし、家に帰るまでが遠征なので気を抜かずにDay17を終えます。

Shinzoさん、Makiさん、Hiroshiさん、Naokiさん、私たちのTraining Instructorを情熱を持っていただき、ありがとうございました。

先輩やOBの皆様からの激励メールもNarromineでのTrainingで一步前に進むために役立ちました。皆様のご支援があって西部組含め10人全員が成長して日本に戻ることができました。本当にありがとうございました。

これからも私たちのフライトは続くのでどうぞよろしく願いいたします。

2015, 9. 5 Winter session Report DAY 19



理科大のNaokiです。Narromine Dairy Report Day-19です。毎日収穫いっぱいです。理科大1年のGishiです。今日は3つの出来事を書きます。

1..靴を脱いで乗りました。靴を脱ぐことでラダーの小さな動きまで伝わってきて、もとよりの動きに気を付けなければいけないと思いました。

2.サブリーダーをやりました。実際に自分で決断する大きなことはなかったのですが、周りをよく見て先を良く考えた経験は大きなIncome1になりました。

3.タスクを欲張りすぎではいけないことを学びました。色々なものに挑戦したくてタスクを増やしていたのですが、ミスも増えて自分にはオーバータスクであると分かりました。これからは少ないタスクに集中して取り組みます！

今日でナロマインでのフライトは終わりですが、僕のフライトはまだまだ続きます。それでは。

理科大のShuntaです。今日は10分に1回周りを見る、そしてHiroの後席でHiroがすることと考えを観察することをタスクとして行いました。

パイロットに大切な、1. ルール 2. 技術 3. 環境把握 の3つがあるのですが、自分は最近3つ目の環境把握に関してつまずいていました。暫く停滞が続いていたのですが、きょう、Hiroがフライトするのを後席で見ている、技術だけでなく空間をよく見ること、他の機体とコミュニケーションをとることなどの環境把握について、自分になかった環境把握の術を得ることが出来ました。

それと余談ですが大学1年の春、自分が初めてグライダーに乗った時のことを思い出しました。(後席は体験搭乗で1度乗った以来乗ったことがなかったので。)ソロにこそいけませんでした。今日は初心にも戻れ、これからは続くフライトが出来ました。それでは。

理科大のYoshiです。今日のタスクはLPP(Landing Pattern Practice)とATのピッチ操作でした。

LPPは飛んだ回数とイメトレを重ねるたびに、checkpointや第4旋回地点を決める際、風向きや高度によって選択できるようになってきました。技術的にはまだまだですが(笑)ATのピッチ操作は最初は操作が大きすぎてしまいましたが、最後にはほんの少しだけ動かす感覚を知れました。

しかし、技術を学ぶことだけがグライダーではないこともこの二週間で学びました。また、行き詰まっても初心に帰ればいい、仲間もいる、ということも今日学びました。これまでに得たincome、これから得られるincomeを大切に、グライダーだけでなく人間的にも成長できるよう、これからのパイロット人生も楽しみます。

理科大2年のHiroです。今日のフライトは2発、Astir III bでの2発目のフライトとASK-21でのShuntaとの互乗フライトです。一日に複数回フライトすることはあっても、一日に複数の機体に、しかも機長としてフライトするのは初めてでした。しかし、どちらも根本は同じ。天候判断から機体チェック、飛行前点検、そして安全に着陸する。いつも通りの”安全”を行動で確かめる。一人前のパイロットになるための大前提を学ぶことのできた一日でした。

2015, 9. 4 Winter session Report DAY 18

理科大Naokiです。?AUSFLYという、Narromineで開催のAir Showのため、本日のOperationは、早朝より開始しました。



カンガルーが迎えてくれた、Runway 11 Left GrassでのOperationでしたが、飛来機の関係で、22へのRunway Change,更に11へのRunway Changeを行いました。Instructorの付き添いなしで、全ての機材を移動できました。まだまだ大きな収穫がありますが、それは、Studentsに任せます。

Hiro: サードソロの報告です。Makiさん、お待たせしました！ついに、初単座、Astir III bに乗りました！今までに経験したこともないような景色、後ろに人がいないどころか人が乗るスペースさえない孤独な単座機の世界。もう形容詞使いまくりで信三さんに怒られそうだし、言葉では表せないの、あとは写真に任せます(僕はVisual、右脳人間らしいので。)



さらに、今日は、初めての経験だらけ。冷え込みの厳しい早朝トレーニング、朝靄、そして単座飛行。今まで培ってきた、環境把握、変化への対応力、これらがまさに試されたフライトでした。どんなときにも、1. ルール2. 技能3. 環境把握の順に則り”冷静に”判断し、実行する。これは、信三さんにも褒められた僕の強みです。しかし、それでも僕には、まだまだ、知らなければならないルールや、磨くべきスキル、察知できるようになるべき環境変化はたくさんあるでしょう。それに、一人前のパイロットになるための1. 2. 3. に加え、更なる一步の4. エアマンシップということも学び途中です。

つまり、僕は初ソロや初単座で満足するような人間ではないのです。

以上、グライダーへの新たな一步を踏み出せたことを報告するデイリポでした

Yoshi: 今日僕がリーダーを務めました。今日のインカムは、今日のテーマである「まわりを見る」が身に染みて実感できたことです。常にグライダーと曳航機の飛んでいる場所を把握する、索付けやフライトレコードの役割がちゃんとまわっているか、など。もう少し早くからリーダーやればよかったなーなんて(笑)明日のテーマは「俺に任せろ」です。明日もリーダーを務めるので、胸を張って言います。俺に任せろ！！
P.S.今日の午後Narromine飛行場で行われていた航空祭の写真と、昨夜Sinzoさんの家から見えた星空を貼ります！早朝のR/Wでカンガルーを見れたのですがシャッターチャンス逃してしまいました、、、。



Shun: 東工大の深溝舜です。Day1で食べきれなかった巨大なハンバーガーですが、今日Day15の夕食でリベンジして完食できました！！

2015, 9. 3 Winter session Report DAY 17



理科大のNaokiです。Narromine Dairy Report を送ります。
雨模様の中、Studentsは環境把握と判断の重要性を肌で感じました。また、明日の早朝Flightに向けて、Ideaの創造ができ、明日も頼もしい一日を行い、Reportします。ただし、Managementの表面が分かっただけです。これからが、その本質を表現できるかです。今はまだ、入口にたどり着いた状況です。皆様のコメントで、是非一皮むいてあげてください。

*Shunです。*Day17のリーダーをやりました。今日は途中から雨が降ることが予想されて、一日どのように動かす計画と決断をしなければなりません。知識と経験は上級生に比べて少ないながらも空を見て自分でまず考えアドバイスを周りから貰い、今日は実際に空に上がることはしないと決めました。前夜に立てた計画からは大幅に変更をしたけれども、それに対応して次を決めていくことができました。もし仮に快晴で風も穏やかでスルスルと計画通りにDay13が進んでいたとしたら大きな決断をする機会がなかったんじゃないかと思います。雨が降ってくれたおかげで計画の変更とその対応を学ぶことができました。そう考えると今日は絶好のリーダー日和ですね。

今日リーダーをやることによって、先読み能力不足や今までリーダーのHiroさんが悠然とリーダーをこなしている凄さを感じました。日本に戻ったら、今の東工理科のリーダーであるMinoさんとShinさんの考えを読んでサポートしますね。*Yoheiです。*今日は一つ自慢をします。毎日夕食の前には「エンターテイメントタイム」と呼ばれる時間があって、決められた一人がみんなの笑いを取ることになっているのですが、毎日あまりにつまらないエンターテイメントが続くので、僕が一肌脱いで笑いを取ってやりました。詳しくは画像を見てください。

2015, 9. 2 Winter session Report DAY 16



理科大Naokiです。不思議かもしれませんが、今日は、Day-11とDay-12を行いました。Day-11が順調に終わり、それがお昼頃。皆で意見を出し合い、次のDairy Taskに進もうとなり、午後からDay-12を行いました。初めてです。これほど皆が成長してきました。

Hiro(理科大2年舟越); Hiroshiさん。2000ft離脱1発のCHAOTIC~Landingまでのフライトタスクから1500ft2発のサーキットタスクに移行する自信を僕にくださったのはHiroshiさんです。Day6の僕のInst.をしていただいたフライト後、「もう1500ft2発でもいいんじゃない、ソロは近いよ。」という一言が、今でも心に残っています。関宿でも、ぜひ、Inst.してください!!!

Shinさん。「主将のくせにな」なんてネガティブな発言はだめですよ。僕たちの本当のリーダーはShinさんですからね。Shuntaと僕のコンビはいつでもShinさんの頼もしい背中を追っていますから。

話は変わって、本日のフライト、セカンドソロの報告です。今日のタスクは「基本に戻る」。直線滑空、旋回、プランニング、この三つです。直線滑空では今までに何度かやっている、トリムをセットして手放して機体の安定性を再確認しました。今日の朝はド静穏だったので、200メートルほどほんとは手放して直線滑空しました、しかも速度が50knotピッタリで。ソロでやるのは初めてだったので機体の安定性をダイレクトに感じる事ができ、さらにUKWへの信頼度が増しました。

旋回は、元々はサーマル旋回をするつもりだったのですが、プラスに当たらず、バンク一定ピッチ一定の基本を再確認、30°バンクの360°旋回をしました。

そして最後のプランニング。これは今回の遠征前にTaichiさん(東工大浅倉さん)からソロに出るために直接アドバイスいただいていたことであるとともに一人前のパイロットに必要な項目の3番「環境把握」にもつながりますね。position、風向風速、他機、ランウェイ状況、様々な要因を総合的に判断してlandingまでのプランを立て、必要ならば修正し、実行する。これは、パイロットとして本当に重要なものであるということを日々実感しています。

Taichiさんそのことを遠征前から僕に教えて下さり、ありがとうございます。(昨日、Taichiさんのナロマインでの初ソロの微笑ましい逸話を信三さんから聞いて、Shuntaと一緒に驚いています。笑)

明日のタスクはThirdSOLOで「離脱高度よりも上に上がる」、こればかりは天気や運にもよりますが、決めたからにはやってみます。

さらにもうひとつ、昨日のデイリポで宣言したShunについてチームリーダーの座を奪われてしまいました(笑)年齢でいえばShunは18歳で今回の遠征メンバーの中で一番年下です。Day1では夕食でさえ食べきれず人にあげていて、朝も一番の遅起きだったのですが、そんなことは感じさせない頼もしい姿で、ナロマインでの基本精神、3つの平等(年齢、経験、性別)を自ら体現してくれています。

今日のデイリポは一人なので、たっぷり書いてしまいました。ナロマインの毎日は本当に楽しく、一日ごと一時間ごとでさえも、新たな学びを見つけることができている。

2015, 9. 1 Winter session Report DAY 15



*Hiro:*理科大二年、舟越裕之、Hiroです。今日のフライトは、ナロメインに来てできた彼女と二人っきり7分間のフライトを楽しんできました。

はい、そうです。ついにファーストソロに出ました!!サーキットを2発飛び、3発目にファーストソロ、今まで後ろにいたInst.がおらず、舵が軽くなったためか、機体と僕との心の距離がグッと近くなり、UKWと一体になって飛んでいる感覚を味わうことができました。ありがとうね、UKW。

でも、不思議なのはこれから。Landing後、翼端が地面と着くと同時に、それまでの二人っきりの世界が一気に広がり、今まで僕を成長させてくれた人たちの顔が思い浮かびました。信じられないかもしれませんが、本当に僕の中での感情がそうなったのです。本当に不思議です。Shinzoさん、Naokiさん、Makiさん、Hiroshiさん、インストラクターの方々はもちろん、先に帰国した西部チームのTaisei,Souma,Tomy,東工理科の遠征チームメンバーのみんな、僕を成長させてくれて本当にありがとうございます。ファーストソロを飛んだという嬉しさよりも、ソロに出た今の自分に僕を成長させてくれたことへの感謝の気持ちでいっぱいです。

さあ、これからShoutの買い出しに行ってきます、そして明日のセカンドソロに向けてのイメージフライトもするのでこの辺で。



*Shun: *こんにちは、東工大の深溝舜です。今日はHiroさんがソロに出たという嬉しい出来事があると共に、私のフライトでも嬉しいニュースがあるのでぜひ聞いてください。

離脱後、サーマルで旋回をして750feetも上に上がることができました。関宿のフライトを含め今までで一番高い所を飛べましたし、結果的に一番長く飛べました！！これからはグライダーを続けてもっともっと高い所を目指していきたいですね。

それと、もう一つ。いつもHiroさんがチームリーダーをやっている姿を間近で見て、大変そうだなと他人事でした。数日前に東工大の中野内さんから”一年生だからといってチームリーダーをやる理由にはならない”というメールを頂いてから、リーダーをやろうか迷っていましたが結果的にチームリーダーをやってみようか決意しました。考えてみればメールを貰うまでは「リーダーなんてShuntaさんかHiroさんがやってくれる」と心の中で思っていたので、自分でリーダーをやろうと決めただけ進歩した気がします。

リーダーをやった日にまたDay Report書きますね。きっかけをくれた中野内さんありがとうございました。



*Naoki: *今日は、どうしても伝えたいことがあり、Dairy Reportに初めての登場です。
Hiroのソロに感動しました。3Sを考え、それをベースに一人前のPilotになってほしく、今まで行ってきたことを、Hiroが実践してくれました。Hiroは、Narromineで率先して、先頭に立っています。経験とか学年がさせていることではありません。Gliderに注がれている情熱、クラブ活動に注がれている情熱がDriving Forceになっていきます。その結果、周りを見られるようになり、先を読めるようになり、一人前のPilotの一步を踏み出せました。目頭が熱くなりました。
皆の目標になっています。大きな財産が生まれました。

2015, 8.31 Winter session Report DAY 14



*Yohei: *こんにちはは理科大の若槇洋平です。Narromineについてから九日も経つのかと思うと時間の大切さに気付かされます。
グライダーの方はというと、今日は「高度1800ftでゴルフ場の上を通る」というタスクで空を飛んでいました。僕はゴルフ場まで行くのにどれぐらいの高度を失うのか考えていなかったの、結局Naokiさんの指示を受けてゴルフ場の上を通ることになりました。
もし一人で飛んでいたら、僕はチェックポイントを決められた高度で通れなくてR/Wに戻れなかったんだな、と実感しました。
僕には、もっと先読みをしてプランニングする能力を磨く必要があるようです。
Narromineの生活の中には、それらを磨く為のヒントが散りばめられているのでこれからしっかりそれらを拾って行きたいです。
*Shunta: *理科大のShuntaです。今日は自分が飛ぶための準備のができておらず、自分のフライトはキャンセルになりました。
今回が先読み不足の2回目で、ペナルティボックスからのオペレーション観察に徹していました。自分は先読みが苦手、しかも1点集中型であり、現状に行きづまりかけていました。それをブレイクするために皆からメッセージを貰いました。今回添付している写真がその時の物です。今日、仲間にも助けられたことを念頭に、仲間からのメッセージ入りシャツを着て、明日こそ先読みをしたフライトにします。
Narromineでは操縦技量の技術云々もそうですが、セルフマネジメントや仲間の重要性など、こういったことがとても大きいインカムになりますね。それでは、Yoshi: 今日の自慢は7人の中で一番長く飛べたことです！そのフライトの中ではPlanning・PositioningをTaskとして意識しました。PositioningはNarromineでのフライトを重ねることにより空間把握が出来てきたのですが、Planningに関してはまだまだ簡単にはいきません。具体的にはdownwind延長線上に高度を意識してのというplanが上空ですぐたてられない、などです。
しかし、難しいとうことを感じるということは自分の技能が上がっているということです、その先のTaskが明確であるということです。なにごとともポジティブに捉え、明日のフライトも楽しみです！

2015, 8.30 Winter session Report DAY 13

*Shunta: *理科大のShuntaです。今日は今まで使っていたノートの類を活字中毒を治すため、Hiroに没収されてしまいました。

しかし、没収されて今まで自分がどれだけ活字中毒だったかがよくわかりました。ミーティングの時もなんだか落ち着かなかったですね。これからイメージを頭に描いて、脱活字中毒に徹します。

あと、Ralphさん、ほんとにいい時にアドバイスしていただきありがとうございます。今日はASK21にKissしてI love you. とささやいてから乗りました。下手に意識して飛ぶより、ちょっとした考えから緊張はほぐれますね。それでは。

*Hiro:*Ralphさん、「機体に恋をする」まさにタイムリーなアドバイスありがとうございます。今日は駿太がUKWIにキスマでしてましたよ。

自分のことを言えば、今日はサーキットの本質とは何なのかを忘れたフライトをしてしまいました。決められたことを決められた通りにする。これも大事なことでありますが、今の自分に求められているのは環境を把握してそれに合ったフライトをすること。具体的には、チェックポイント後で高度が高ければ、ベースでダイブブレーキを使うよりもファイナルを長くする。逆に短ければ、ベースを近づけて場周するよりも早めに第三旋回をして斜めに第四旋回点に向かう。

どちらも安全に着陸するためにファイナルにできるだけゆとりを持たせるという指針です。

一人前のパイロットになるために必要な1.ルール2.技能・操作3.環境把握。このうちで最も難しい最後の3番を自分の体験を通して理解することができとても良い一日になりました。(昨日はストールとサブGのタスクで、今日は本当は策切れのタスクでしたが、Trafficの影響で変更。ノーマルサーキットになりました。明日のタスクは...これからイメージフライトをするのでこのへんで。)

2015, 8.29 Winter session Report DAY 12



理科大のNaokiです。本日のDairy Reportより、私のPCから発信させていただきま

す。本日の全体テーマは、「りきまない」です。メンバーの一人がフライトでりきまなかった結果、見える世界が変わったことを受けて、全体でシェアすることになりました。Dairy

テーマがSmileの日もありましたが、皆いい顔しています。見せてあげたいです。Dairy Reportも10人メンバーがいますので、誰が書くか取り合いです。是非皆さんからの

激励お待ちしております。

よろしく願います。Naoki

Taisei :九工大2年の平田大成です。Day12の最終日にはチームリーダーとして一日を過ごしました。今までリーダーのもとで動いていた時の見え方とは違い、みんなを

観察してプランをたて行動したためチーム全員の表情や考えを見ることができた。Day1から最終日を通して、自分のことを優先した見え方からチーム全体を優先した

見え方へ変わったと感じた。今日一日は新しい見え方ができ自分にとって刺激になる一日でした。また、今日のフライトは実際のフライトを終えた後にイメージトレーニングを数えきれないくらいした結果、満足のいくフライトができた。今日が最後ではなく今日からがフライトの始まりとして頑張っていきます！

Yoshi: 理科大1年のYoshiです。Narrominelに来てから7日が経ち、ここ何日か天気も安定していて毎日のFlightが最高に楽しいです！また、Flightを重ねることにより

Narromineの地形や風景がより想像しやすくなり、イメージトレーニングがより充実したのになっていくのが実感出来ます。ただ、Taskをこなすことももちろん大切なことですが、なによりも楽しむことこそが空を飛ぶ理由です。飛ぶことだけがFlightではないということをごまごま、これからも楽しんでいきます！

Tomy：九州大学1年の富田港斗です。今日は、搭乗から飛行機を降りるまでをI haveで行いました。原点である空を楽しむこと、力まないことをクリアできました。DAY1からフライトだけでなく生活面・意識面でも学ぶことの多かった質の高い日々を送れ、幸せでした。

これから日本に帰ってからのビジョンが明確になりましたし、自分の夢である、AIRLINEパイロットになるために大切な12日間になったと思います。SHIZOさん、MAKIさん、HIROSHIさんをはじめ、共に過ごした全ての人に感謝します。明日からも楽しんでフライトしていきます！

2015, 8.28 Winter session Report DAY 11



*Hiro: *理科大2年の舟越裕之、Hiroです。Day3からDay6までチームリーダーを務めました。自分のフライトに一日の生活、加えて全体のフライトスケジュールと、リーダーとしては当たり前であるやるべきことの多さに自分の頭はフル回転、ときにはフライト順をグラウンドハンドリングの為に変更してしまったり、フライト自体よりも生活の中の洗濯を先に考えてしまったりと、優先順位を間違えた計画を立て、フライトしに来ているという本質を忘れてしまう場面もありました。しかし、日々の飛行場での活動やミーティングをする中で、先を読んで変更に対応できる計画を立てること、チームメイトが思っている事を引き出して全体の進むべき道を見定めることを学びました。周りにいるメンバーの行動や言動から考えを探り、人と人との関係性を徹底的に考え、その人にとって本当に良いことを実行する。そんなリーダーシップの本質に触れ、実行する三日間でした。

Johnson: *理科大1年の上村勇貴、Johnsonです。今日は直線滑空・旋回をタスクとして飛びました。しっかりと目標を取り、イメージトレーニングの結果が活かされたフライトになりました。また、今日の一番の収穫として‘他人のフライトから学ぶ’という事が実感出来ました。

Tomyの1発目のアプローチ時、グライダーがぐらついていたのですが、皆でその原因を考え、それを共有することが出来ました。これからは他人のフライトをよく見て、学び取れることが有れば皆で共有していきます。

*Tomy: *九州大学1年の富田港斗です。今日は離着陸・飛行機曳航・場周を課目として2発飛びました。2発のフライトで今回の全体目標であるタスククリアが出来ました。ダイブブレーキ使用時に左手に力を入れてしまい、その力みが右手にも伝わってしまいました。

明日に向けてもう一度自分のタスクを明らかにして、これからトレーニングに励んでいきます。明日で最終日ですが、出来ることに全力で取り組み、明日も楽しんでいきます！

2015, 8.27 Winter session Report DAY 10



*Shun: *東工大1年の深溝舜です。今日ふと感じたことは、日本では下ばかり見る生活でしたがここに来てからは気持ちもポジティブになってきて、自然に前を向けるようになってきました！！

Gishi: 理科大1年の高城祐介、Gishiです。空から見るナロマインの風景はとても綺麗で感動します。今日のTASKは3舵の操作で、エレベーターを大きくダウンさせたときのサブGはジェットコースターに乗っているようでした！これまでの5日間で先を読み、周りをよく見て自分の行動に責任を持つことの大切さと難しさを学び、自分にとって大きなincome1になりました。

*Tomy: *九州大学1年の富田港斗です。昨日から何十発とイメージフライトを行ってきましたが、3日ぶりのリアルフライトで、長い時間自分の自由に飛べて1日中幸せでした。今日は課目であった飛行機曳航でイメージとのズレを認識出来ました。Shinzoさんからのアドバイスも頂き、これからイメージトレーニングに励んでいくので、明日にでもマスターしていきます！残り2日でソロを飛びます！明日も楽しんでいきます！

*Taisei** : 九工大2年の平田大成です。今日はサーキットをタスクにしてフライトをしました。地上でのイメージフライトを数えきれないほど行い、そして実際のフライトとの違いを少しずつ修正していった結果、自分が納得いくフライトができて満足しています。残り二日もイメージフライトを大切にしていきます！

また、Somaが搭乗前であたふたしていた時に私が水を渡してSomaにリラックスしてもらうことができた。人を思いやることでチーム皆が軌道にのっていることを感じる事ができました

*Shunta: *理科大2年の片山駿太、愛称Shuntaです。今日は自分の説明が通じない、教える事が上手くいかない理由についての発見と収穫があった事についての報告です。自分の頭の中は様々な事が重要さの大小の区別なく収納されていると言う事に気づきました。自分とは違って人に説明、リーダーシップを取るのが得意なHiro(舟越)と話していて、彼のノートを見せて貰った時、自分のノートは字のみであったのに対し、彼のは図と絵が使われており重要度が一目で整理されていました。ビジュアルを用いて整理する事の大切さに気付きました。

2015, 8.26 Winter session Report DAY 9



*Yohei: *理科大一年の若槇洋平です。昨日から始まったペアシステムについて書きたいと思います。

ペアシステムによってペアになった九大のトミーさんと仲良くなれてとても嬉しいです。同じ大学の人と交流するのも良いことですが、ナロメインという環境を通してほかの大学の人と交流するのは、グライダーについてだけでなく生活全てにおいていい刺激になっていると感じます。

今日から東工・理科大の部屋に九大・九工大の3人も泊まる事になりました。今日から24時間トミーさんと行動を共にして得られる事を全て自分の物にしていきたいです。

Shun: *東工大の深溝舜です。今日は機体の安定性と三舵を知るというタスクで飛行しました。右に曲がる・左に曲がるために操縦桿を動かすことを、自転車に乗るように体が覚えて自然に出来る様にイメージフライトをやってトレーニングしていきます。また、今日のテーマは「Keep Smile」でしたが、私から見てTomyは大きなポカがあったにもかかわらずKeep Smileがメンバーの中で一番出来ていたと感じました。

*Tomy: *九州大学1年の富田港斗です。今日も昨日に引き続き、ペアを組んで1日を進めていきました。ただ自分はペアになって2日目にもなって、ペアを組むと言う意味、自分が行動で相手に示すと言う事が出来ていませんでした。今日は2枚目のイエローカードと言う事でフライトは出来ませんでした。ペナルティボックスという全体の良く見える場所でじっくりとこれからやっていかななくてはならないことを考えたり、イメージフライトで空を飛びました。ソロで飛ぶと言う事は技術だけではなく、生活面や行動でのINCOMEも得られています。

明日も楽しんでいきます！



Soma: *九工大2年の平井聡馬です。今日は、それまでも自分がリラックスするための方法としてしてきた水を一口、ごっくりと飲みました。

2015, 8.25 Winter session Report DAY 8



*Shun**： *こんにちは、食事の量にやっと慣れてきた東工大理学部1年の深溝舜です。今日初めてナロマインの空をグライダーで飛びました。ナロマインの空は地上で聞いた噂通り、地平線が見えて美しかったです。特に今日のフライトでは小雨の中飛んだので、ところどころに見える雨と雲の隙間から差し込む光、菜の花の黄色い畑と地平線近くの遠くの景色は強く印象に残っています。

明日からは実際に操縦桿を握り、ナロマインでのグライダー操縦を楽しみます。

*Tomy： *初日から書いています、九州大学経済学部1年の富田港斗です。今日の全体目標は「東工・理科大1年生を安全に全員飛ばす」というものでした。今日も自分達で、天候を見ながらの判断したり、初めて飛ぶ人が問題や滞りの無いように飛べるよう、ペアシステムを作ったりと、目標を達成するため全員で工夫して1日を進めていくことが出来ました。

Day3にして皆がフライトを経験できたので嬉しく思います。帰宅後にも、全員集まって明日のフライトへの計画を皆で立てています。チームでの結束力が感じられ頼もしく思います。明日も楽しくフライトしていきます！



*Shunta： *理科大2年の片山駿太、Shuntaです。今日はナロマインに到着してようやく空に行けました。昨日は自分の判断で飛ばないと決め、飛びませんでしたが今日は今までの経験とイメージを総動員して自分自身のフライトを隅々までマネジメント出来ました。

今日はサーキットトレーニングでしたが、準備からチェックポイントに入るまでは今までで最も上手くフライトをコントロール出来ました。しかし、チェックポイントがランウェイに寄りすぎであったため、最後の第三旋回、第四旋回がオーバーシュートするなど、気持ちが慌ててしまい、チェックポイントからファイナルアプローチまでが上手くいかなくなってしまいました。これらは、チェックポイントの位置の取り方の失敗から

次々連鎖してしまったもので、連鎖を断ち切るイメージ、そして的確なチェックポイントに入るイメージを作ります。

余談ですが、今日は離脱後、ものすごくきれいな虹を見る事が出来ました。とても感動的な風景でした。やはりグライダーは毎回収穫があって楽しいですね。

Hiroshi: 遠征のサポートに来ている理科大OBのHiroshiです。西部GはDay8、東工理科Day3です。気象状況の判断が難しく、昨日に引き続き練習生によるディビジョンメイキングにより、今回は初めて遠征に参加したメンバーを1回はフライトするという目標達成に向けて活動できました。イメージトレーニングも含め、練習生の頭の中に入ることによって自分のフライトマネジメントが向上するということを実感しました。練習生の満足した笑顔をこれからも楽しみに進めていきたいと思えます。

2015, 8.24 Winter session Report DAY 7



Shun: 東工大理学部1年の深溝舜です。呼称はShunに決めました。昨日今日と不安定な気候で私自身は飛行する事は出来なかったものの、先輩方がプランを考えていくのをそばで観察して大きな刺激になりました。

先輩方を見習って、もっとミーティングで自己主張していきます。明日は初ナロメインフライトでオーストラリアの空を楽しみます。

Hiro: はじめまして、初のデイリポート、理科大2年の舟越裕之です。愛称はHiroです。今日は、東工理科大が初めて実際にR/WIに出ました。そして、自分自身ナロメインでの初飛行(慣熟飛行)でした。ナロメインについての2日間何十回としてきたイメージフライト、ですが、それを超えるミッチェルハイウェイの長さに見直ぐさ、今まで見たことのない見渡すかぎりの地平線、そして飛行機曳航のパワフルさ。驚きの連続でした。

「これがナロメインか！ここで初ソロしてやるぞ！」という思いが一層増しています。これからはサーキットの練習にも突入します。今日のフライトで、イメージフライトにより現実味が増す成果を得ることが出来たので、これを糧に明日のフライトに備えたプランニングをし、先読みするイメージフライトを重ねていきます。

Tomy: 今日は朝からずっとサンダーstorm・シャワー・低雲・強風など難しい天候状況が続いており、フライトを実行できるか決めかねる状態で午後まで待機しました。自分達で空を見て、計画を立て、何とか日没までの2時間ほどに人数を限定してフライトすることが出来ました。そんな今までとは状況が違う中で「自分が飛ぶ」という意識が低くなっており、荷物を車に置き忘れ、自分のフライトが中止になってしまいました。計画がずれてしまい皆に対して申し訳なく思ったり、飛べないこと、Day7にしての自覚の無さに悔しい思いをしました。今日は最後のイエローカードと言う事で、自分がフライトを行うんだという意識を強く持つように自身に刻み込み、自己主張を行い、今日の終発で飛びました。飛行機曳航の終盤から、スピードセット等のFUST、上空の旋回での高度処理、ファイナルアプローチまでの場周、着陸軸までの飛行やフレアをI haveで行い、今日はフライト技術はもちろんのこと、生活面やフライトに対する意識など、今までで一番大きなINCOMEのある1日になりました。明日以降も全てをフライトに繋がられるように楽しんでいきます！

Taisei: 今日はINCOMEを2つ紹介します。私がフライトの一発目を飛ぶ事は決まっております、パイロットの出発準備をすることがパイロットとして基本のことでした。しかし、

Day7になった今日のフライトで持って行く荷物を車に置いてきてしまい、パイロットの出発準備ができていなかったためフライト順を下げられてしまった。フライトするというパイロットの自覚が無かったために起きてしまった事だと感じた。メンバーが増え環境が変わった中でもいつも通りのことをしていきます。また、サーキットを今日のタスクで行いイメージフライトと実際のフライトとの違いを感じ取ることが出来ました。このフライトとイメトレとのずれを修正できて、より精度の高いイメージトレーニングを明日以降行っていきます！

2015, 8.23 Winter session Report DAY 6



Shunta: 東京理科大学の片山駿太です。愛称Shuntaです。昨日の18時頃ナロマインのShinzoさん宅に到着しました。道中は大きなトラブルも無く、無事に到着することが出来て安心しています。去年は1年生として参加しましたが、今年は上級生としての参加であるので昨年より気を遣い、大変ですが、その分の自分としての収穫も多くあります。

今日は飛行機曳航のイメージトレーニングを九州チームに伝えたのですが、曳航機では無く、地平線を見る、と言う本質的な事を伝えていませんでした。昨年自分も苦労した部分、しかも本質的な事をすっぽかして、自分でもとても勉強になりました。今日は雨でフライト出来ませんでしたが、明日も収穫を取りに行きます。

Taisei: フライトは雨で中止になりましたが、家で行ったイメージフライトがINCOMEになったので報告します。飛行機曳航におけるイメージフライトで最初、私は曳航機に焦点を合わせ操縦していましたが、見え方が曳航機にばかり集中してしまい目があちこち向いていました。しかし、地平線に焦点を合わせて操縦してみると目の動きが地平線に固定されてさらに操縦しやすくなったし、上達したことを実感出来ました。

Tomy: 今日で東工・理科大チームと合流しました。これからお互いに良い刺激を受けられそうです。今日は雨でフライトは出来ませんでしたが、飛行機曳航に馴染みのある東工・理科大チームによって曳航のイメージトレーニングを行いました。曳航に関しては今日まで自分達で実施どころか、イメージトレーニングですら出来ていなかったのが本当に大きなINCOMEになりました。明日以降、このINCOMEをフライトに活かしていきます！

Soma: 今日はあいにくの雷雨により空港でのフライトは出来ませんでしたが、東工・理科大チームと合流し、先日までよりも活気が有り、同じく成長を目指すもの同士で助け合える環境が出来ました。またホームでのイメトレでは、単に想像力を以て行うだけでなく、そもそも何を目的としたイメージとして行うのかを考慮し、それに沿うような方法で行うということ学び取れました。

特に、午後に行った飛行機曳航のイメージフライトでは、単に曳航機の模型を目で追う様な方法ではむしろ悪いものになるということで、目の焦点を疑似の地平線に合わせるように明かりをセットし、その上で地平線に注目して被曳航操作を想像するという手法をとりました。イメトレのそれ自体の内容や手法について深く考慮する事ができた、良い雨の日になりました。

2015, 8.22 Winter session Report DAY 5

Tomy. 今日は場周を行いました。チェックポイントの確認や、第三旋回、第四旋回の目標の取り方を理解できました。

自分の成長を実感出来ており、とても楽しくフライトが出来ています。今日のチーム目標は全員で情報を共有するというもので、それによって今まで以上に他人のフライトにのめり込み、自分のフライトの糧にすることが出来たと感じています。明日の個人目標は「チェックポイント通過・目標確定・第三、第四旋回といった場周を完全に自分で行う」です。目標を達成できるよう今夜もイメトレに励んでいきます！

Soma. Day5であった本日は、先日に続いて直線滑空・90° 旋回と、サーキットを身に付けるためのフライトを行った。これまでとは違う機体であるDuo Discuss、昨日以上につよい風が前夜から予想されていたため、イメトレをより入念におこなったが、荒れたフライトになってしまうのではないかと心配していた。しかし実際飛んで見ると、Duoの性能に驚くと同時に、それに自分の感覚がフィットし、直線においてもサーキットにおいても想像以上のフライトができ、今日のフライトは良いフライトだったと思えました。明日からもこの喜びを求めて上達に繋がりたいです。

Taisei. Day5では180° 旋回、サーキットをした。まず180° 旋回では90° 旋回後にそのまま目標を取ってさらに90° 旋回するところを停止をしてしまい結果として90° 旋回をしてしまった。このミスはこの後のフライトでも起きないように意識し、さらにチーム3人で情報をシェアしてフライトで学んだ事をよりチームが上達したと感じた。また、明日のフライトでの目標はチェックポイントに入ってからファイナルに向かうまでの場周を自分で行う事です。

2015, 8.21 Winter session Report DAY 4

ナロマイン遠征 Day04 Report を送付させていただきます。

3名のStudent Pilots が自ら設定した本日のDaily テーマは「イメージトレーニングの効果を実感」するでした。レポートではその結果が良く分かります。3人からのレポートをご覧頂ければと存じます。



Soma: イメージトレーニングがいかに実際のフライトに効果を及ぼすのかを試す日になったDay4では、つい昨日までの落ち着いた風状態とは打って変わって、36から10~15ノットほどの風が吹き続ける日であった。しかし、前日の入念な、ナロマインではまだ経験していなかった偏流をとる直線滑空を含めたイメージフライトによって、実際でも落ち着いた判断と対処が出来た。すなわちイメージトレーニングは実際のフライトに大いに効果が有るということが自分の中で示されたのである。明日以降も、遠征終了後にも、長くイメトレの習慣を身に付け続けよう。



Taisei: 前日のイメージトレーニングでピッチの見え方を感じ取りやすくするために、紙の棒を地平線に見たてて景色の見え方によって操縦をするトレーニングをした。その結果、今日のDay4では、ピッチの変化に自分で気づくことが出来て直ぐに修正を行うことが出来た。今日のフライトではイメージトレーニングの効果を実感したので、上



空でのフライトだけでなく地上でのイメージフライトを大切に次回以降もINCOMEをつかんでいく！

Tomy:今日は直線・旋回に加え場周旋回を含めた90°旋回を行いました。操縦している時には自分だけで行ったと思えないほどスムーズに旋回・停止が出来て、フライト以外での他の人からのアドバイスやイメトレ、準備の大切さを感じています。明日は場周を行います。その為のイメージトレーニングをフライト終了後から積んできているので明日への準備を万端にして目標達成して行きたいです！

2015, 8.20 Winter session Report DAY 3

Day03 Reportを送付します。本日はトミー(九大1年 富田港斗)からのレポートです。



Tomy: 今日もI haveでの直線・旋回を行いました。よく起こる事らしいのですが、操縦桿をいつの間にか手前に引いてしまっています。ミーティングにて原因が桿を横に動かす時に腕のリーチが足りておらず、結果的に桿が引いている等、意見が出ており、それらを明日に活かしていけそうです。簡単には課目を移れない中、焦りもしていましたが、基本的な直線・旋回こそが後々の課目の重要な葉になると信じて、明日はこれらを身に着けられるよう楽しんでいきます！

2015, 8.19 Winter session Report DAY 2

Makiです(NPO九州牧田)。Day02 レポートをお届けします。

本日は、全員上空での酔いも出ること無く、3人各1時間ずつのフライトが出来、皆Happyでした。Inst. としても嬉しい一日でした。

(出発前のコーラ350CC飲みとイメージトレーニングの効果もあり、酔い防止に繋がったようです。)



Taisei: 今回のフライトでは前日のイメトレの成果もありリラックスして操縦することが出来た。基本の操縦操作である直線滑空、旋回の練習をした。直線に進むことが予想以上に難しく苦戦しているが、実際に自分の手で動かしている実感があり気持ちのいいフライトになった。明日もリラックスしてフライトに臨もうと思う。

Soma: 実際に操縦装置を手にして基本操作の練習を行ったDay 2のフライトでは、いままで十分できていると思っていた機首の安定や目標に向かうという動作が、意外なほどにまだ不十分であることを知るフライトとなり、またその後のミーティングでは、それに対処していく為の良い手がかりをつかむことが出来た。

Tomy: 今日は前回のフライトですぐに酔ってしまったので、いくつか対策・練習を行いました。その効果があったからでしょうか、今日は55分間、爽快に飛ぶ事が出来ました！更に、I haveでの直線・旋回や目標の確認などグライダーとしての前進を実感しました。明日以降も毎日の反省に対し、しっかりと対策を行い精進していきたいと思えます。

2015, 8.18 Winter session Report DAY 1



NPO九州の牧田です。本日18日(火)より西部学生(以下3名)のナロマイン遠征が始まりました。遠征期間は8月29日までの12日間です。

理科東エチームは23日から合流で、Day1がスタートです。

なお、本年も理科大OBの市川博さんにサポート参加頂いております。

九工大: 平田大成, 2年(愛称:タイセイ)

九工大: 平井聡馬, 2年(〃:ソーマ)

九大: 富田港斗, 1年(〃:トミー)

本日は、遠征初日でしたが、スムーズにオペレーションも立ち上がり、各自1回ずつのナロマイン慣熟飛行実施でした。3人とも、ナロマインの地平線の凄さにびっくりし

たようでした。本日より例年同様、Daily Reportを配信させていただきます。皆さまから、応援・激励メッセージ等頂けましたら幸いです。



Taisei: 最初のフライトでは外の景色を見る事に集中しました。地平線を360度見回すことが出来て、普段目に出来ない分新鮮に感じました。

Soma: 初のナロメインでのフライトとなったDay1では、外の光景や地上目標、実際にそれらを用いた直線滑空や、地上でのオペレーションなど、今後のフライトの中で基礎の基礎として生かしていく感覚をつける日となりました。

Tomy: 九州組唯一の1年のTomyです。自分は経験が少なかったせいか、比較的早い時間で酔ってしまいました。現在かなり悔しい思いをしているので、明日以降、これをバネに頑張っていきたいです。オーストラリアに来てから本当にフライトを含めても色々新しい経験が出来て感動しています！



Hiroshi: 昨年引き続き、遠征のサポートに参加しています。日本ではほとんど飛んでいないので、オペレーションも含め、今日から学びながら学生の皆さんの視点に立ってサポートできればと思っています。

2015, 8.8 Shinzo in Texas

Texas遠征中のShinzoからレポートが届きました。

「TexasのBoerne Stage Airportで、BobのArcusTを使いCoachingフライト中です。毎日OLCに載せています。今日はTomのASG 28を連れての3人旅。





Texasステーキ飽きたので、今日はRed Lobstarで蟹、海老三昧でした。
毎日40度近くなるので、体力セーブでワインなしです」

2015, 4.3 **Narrenkai 2015 Report !**
今年のNarrenkaiレポートが届きました。[→こちら](#)

2015, 2.9 **4年振りのナロマイン2 (井手尾) !**



4年ぶりのナロマインは密度の濃い4日間でした。連日予想高度は10,000feetを超え、家内と互乗のDuoDiscusで750kmを目指したもののやはりブランクは無視できず、思ったような平均スピードができません。結局500kmにも満たない距離でナロマインに戻りました。フライト後、SeeYouのデータを見ながらShinzoさんから細かくレグ毎に改善点を指摘されました。やっぱりクロスカントリーは奥が深い！継続が重要であることを痛感した4日間でした。

2015, 1.31 **4年振りのナロマイン (井手尾) !**



1983年の初渡豪以来、ほぼ毎年行っていたナロメインですが、このところ仕事が忙しく4年ぶりのナロメイン。気温は30°Cで過ごしやいもののサーマルはアベレージ9。トップは8,000feet~9,000feet。ナロメインは変わりません。

第4回 NARENKAI マジ編 (2015. 3. 6-3. 17) レポート

昨年につき第4回 NARENKAI マジ編が開催されました。開催の概要は、以下の通りです。

名称 : NARENKAI Spring Session (俗称 : マジ編)

期間 : 2015年 3月6日~17日

場所 : Soar Narromine <http://www.soarnarromine.com.au/index.htm>

参加者 :

今回は、初参加の Ron、Hide を迎え、平均年齢が大幅に下がりました。

Ron (森) : 3月6日-10日

Nob (堀崎) : 3月7日-17日

Hide (岩田) : 3月8日-13日

Hiroshi (市川) : 3月8日-3月14日

Kadz (半田) : 3月9日-3月16日



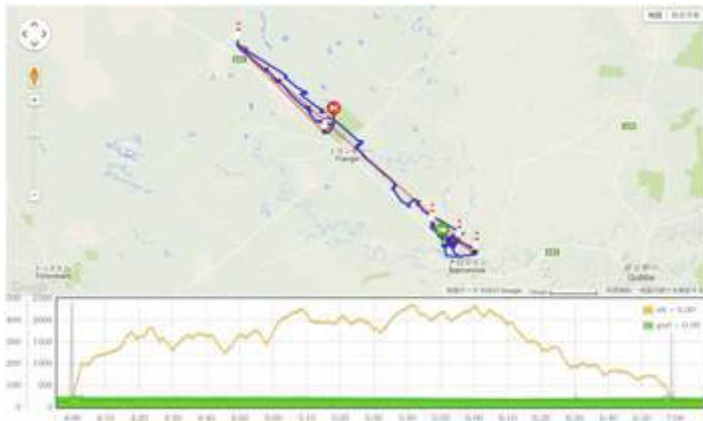
左から Ron、Hiroshi、Shinzo、Nob、Kadz、Hide

Ron

初めてナレンカイに参加させていただきました。ナロマインの信三さんの元を訪ねるのは、2年ぶりでした。

今回は、本格的なクロスカントリーをするべく、ナロマインのすり鉢の外に出ることを目標にしていました。まずは、そのすり鉢を出た時のお話からさせていただきます。

DAY. 3 <2015. 3. 8>



<http://www.onlinecontest.org/olc-2.0/gliding/flightinfo.html?flightId=-117302820>

今回は初めて Discus 2a に搭乗しました。2年前に Discus に乗って以来の単座機で、DAY. 1 と DAY. 2 はその慣熟に要してしまいました。ピッチ操作の難易度がやや高いものの、操縦入力に対してとても機敏に応答してくれ、かつ不安定を感じない素晴らしいシップです。

ブルーコンディションの中、Mitchell High Way 沿いに北西に伸ばすとあまり沈まないラインがありました。南西風で High Way がトリガーとなり、その東側でラインができていたものと考えました。しばらく行くとナロマインから約 30km 地点の Trangie の滑走路が見え、ここを押さえた上で、さらに北西進しました。やがてナロマインから 50km を過ぎ、ナロマインのすり鉢を出ます。今回の目標の達成です。

その後、前方に Nevertire の街、右前方に Warren の滑走路が見えてきます。Warren のすり鉢にも入っています。その後、Nevertire をヒットして帰ろうと思っていた頃、沈みます。どんどん沈みます。Nevertire 手前 5km にして、余裕高度がなくなり、前回のサーマルに戻ることにしました。ところが、そのサーマルが見つかりません。Trangie の方向へ戻りながら、次のサーマルを探しますが、どうも今までの勢いのあるサーマルが見当たりません。状況が変わってしまったようでした。

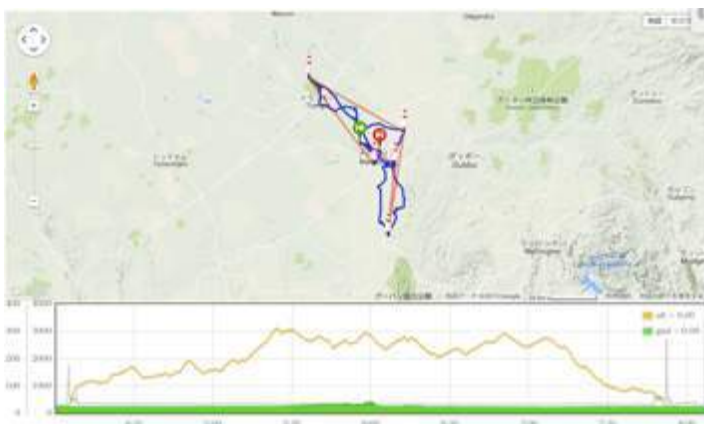
その間に、Warren のすり鉢からも Trangie のすり鉢からも出てしまい、人生初のアウトランディングをする決意をしました。幸い良さそうな耕作地を見つけ、無事にシッ

プを下ろすことができました。

いくつかの判断ミス、その背景にはちょっとした「欲張り」の重なりがありました。目標にしていた Nevertire のヒット、Warren よりナロメインに近い Trangie へのアプローチ、日中に経験した強いサーマルへの拘り、GPS 測位による正確な距離判定による高度マージンの低下、などです。特に高度が低くなってからは冷静な判断ができなくなっていました。

次は、Hawk と一緒に飛んだお話です。

DAY. 5 <2015. 3. 10>



<http://www.onlinecontest.org/olc-2.0/gliding/flightinfo.html?flightId=53645284>

この日のフライトは OLC（オンラインのグライダーコンテスト）の Daily Score 世界 47/92 位でした。朝から積雲が出るコンディションでしたが、下層のサーマルがブレイクするまで辛抱が必要でした。

下層のサーマルで粘っている間、5~6 羽程のタカと共に飛行しました。失速速度ギリギリまで速度を抜くと、タカと一緒にサーマリングをすることができます。ソアリングのプロであるタカと一緒に飛ぶことができたことに感動しました。写真は機内に固定したビデオカメラのキャプチャ画像です。残念ながら写真では小さく見えますが、実際には尾っぽを細かく動かしている様子が分かるほど大きく見えました。プロである彼らがなかなか上がれない様子を見て、我慢の時間であると考えました。

タカを見失って間もなく、強いサーマルで雲底まで上げることができました。その後は雲列を辿るようにコースをとり南へ、さらに DAY. 3 にアウトランディングした北西の地点まで、ナロメインのすり鉢を維持したまま飛行することができました。

南方面からナロメインへ戻る途中、再びタカの一群に遭遇しました。強いサーマルの中では速度を抜くことができないので同じようにサーマリングすることはできませ

んでしたが、しばらく同じサーマルで高度を上げた後、彼らは南へ、私は北へブレイクしました。

NOB さんにお誘いいただき初めてナレンカイに参加させていただきました。他の皆さんの DAY.1 にアウトランディングするなど大変お騒がせしましたが、いい経験をしたと温かく迎えていただきました。どうやら本来のナレンカイの姿を見ずに帰国したようですが、朝から晩までグライダー談義に興じ大変楽しい1週間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

Nob

「シルバーがシルバーをめざす」として参加した NARENKAI マジ編も今回で4回目。単座ソロ、1時間フライト、2時間フライトとそこそこ進歩してきたかとそれなりに満足。

そして今回の TASK は：

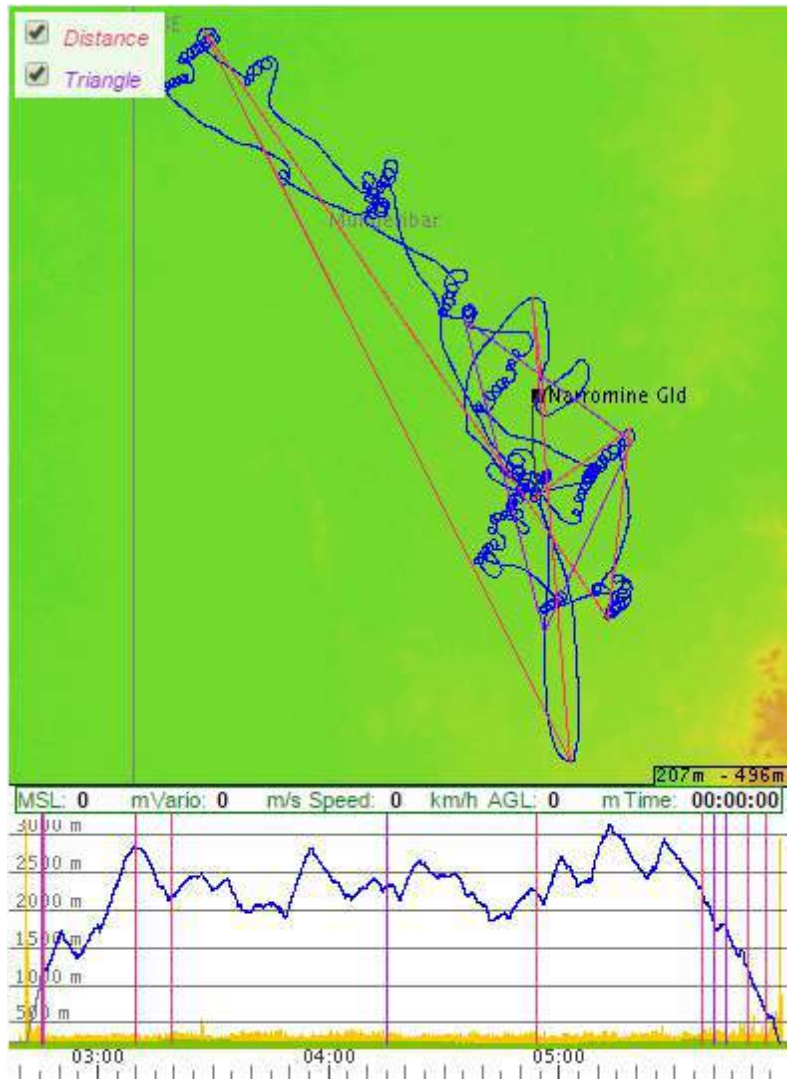
自機と飛行場の位置関係、距離と高度を常に把握。リラックス&ジョイフライト。

途中の休憩日も考慮し10日間の日程としましたが、合計約10時間（7回）飛ぶことができました。2回の渋いフライト（サーマルをつかめずすぐ降りてきた）を除けば、それぞれ1時間以上は飛べました。その間、飛行場から北、南へは20km、西へは30km張り出し、高度と距離の感覚もそれなりに認識することができました。リラックス&ジョイもできていたと思います。

途中報告しましたように、ソロで初めての3時間超、高度10,000ftのフライトをすることができ、充実した NARENKAI となりました。恥ずかしながら記念として写真を添付します。

次回はほんとうに「シルバーがシルバーをめざす」にチャレンジできるかなと甘い期待を持っているところです。

皆様も是非 NARENKAI マジ編に参加していただきたいと思っています。皆様のご支援に感謝しております。



Hide

今回初めて参加させて頂いたHideです。3/8(San)現地着から3/13(Fri)発まで6日間、毎日飛ばさせて頂きました。

3/8午後2時頃に現地着後、ハンガーでのマナー、シーティングポジション、方向感覚・空間感覚等、直ぐに信三さんの厳しいご指導を頂き、当初大変面喰いました。

この日のASK21によるチェックフライトでも大変多くのご指導を頂き、慣れない初めてのエリア、かつ公共の飛行場でのフライトに大きな不安がよぎりました。

訓練後には、皆さんと共に近くのレストランでビールとオーギーの夕食を頂き、信三さんの大きな家へ到着。その一室が6人収容の合宿所(ベッド付)であることを初めて知りました。

ここでも信三さんによる講義が続き、”NARENKAI”の語源の宴会はついに始まらず。持ち込んだ焼酎やスナック菓子の出番無しでした。これにも驚き。

翌日の朝からも、詳細な気象データに基づく気象予測の解説・指導からスタート。その他グライダーにまつわる様々なお話をお聞きしているうちに昼になり、ボチボチ出掛けて行くというスケジュールであることを理解しました。

空港に到着すると、Nobさんに付いて回りご指導頂くことに。この日はNobさんのASK21ソロ飛行の後、夕方に同機でソロフライトさせて頂きました。

その後、ASK21、Astire3bによるソロフライトを重ね、少しずつですが、この地でのフライトに慣れて来ました。機体を専用にお借りできる立場では無いため、まだまだ飛べる状況にあっても急いで降りて来たり、遠方にシャワーを発見して降りざるを得なかったりで、あまり長時間のフライトは叶いませんでしたが、それでも最長2時間10分のフライトができました。

そして帰国日の3/13には、信三さんからDiscusの搭乗を許可され、短い時間ではありましたが、高性能機的一端を垣間見させて頂きました。

この様に、今回初めて参加させて頂き、色々な面で戸惑いもありましたが、ドップリとグライダーに浸かり込み、学び、お叱りを受け、技術面やメンタル面で成長できる良い機会であることが判りました。

今後も、時間が許せば参加を継続していきたいと思えます。

信三さんやNobさん、Hiroshiさん他、良い機会を提供して頂いた皆様にお礼申し上げます。



Hiroshi

4回目のNarenkai参加です。参加するごとにフライトに対する欲が出て、今回こそ、50kmとと思っていましたが、残念ながら目標は達成できませんでした。昨年と比べるとシャワーや風で天候は今ひとつでTotal10時間弱のフライトでした（私が帰ってから非常によい条件の2日間だったようですね）。しかし、単にソアリングするだけでなく目標を決めて距離をフライトすることが出来るようになったと感じています。

また、今回はColibriというGPS（新しいおもちゃ）を搭載しフライト結果をOLCにアップすることで、自分のフライトを後から振り返ることも出来、また張り合いにもなりました。依然として着陸がうまく行かないことがあり、かなりロングして着陸してしまったとき、RonとShinzoさんにOLCの距離稼ぎかと、冷やかされタジタジでした。

ナロマイン入りした3日目までは、体調が思わしくなく、せつかくHideさんが持ってきてくれた焼酎を、思いっきりご馳走になれず残念でした。後半は復活し、Narenkaiのもう一つの目的を達成したつもりです。

日常からはなれストレスフリーの7日間のおじさん達の合宿で心身ともにリフレッシュできました。また、来年もよろしくお願ひします。



Kadz

まだ寒い日本から来て、太陽のひかりと青空。メンバー同士の会話、さらに透明な空気や南十字星が頭上に来る夜空で心身ともにリフレッシュされます。

後半には、やや疲労も感じる歳ですが、健康になっていく実感がうれしい限りです。

Narenkai の参加は、一昨年、昨年と 3 回目です。前回以降この一年間は OB 会で飛んだ一回だけでしたが、今回も 計 10 時間以上のフライトを楽しみ、高度も 9500ft を経験しました。

最終日のフライトでは、その前夜いろいろ会話したアプローチから接地までのすべてを確認できました。また、余裕のある高度でいろいろためしました；

- 旋回中の手放しだけでなく、左手での修正や給水等
- 手放しでトリム変化したときの機体姿勢の変化のしかた
- 手だけでなく足も力をぬいてフリーにすると、素直に動いてくれる；

着陸まえに横滑りで焦ってしまうことがあり何故かと考え込むことがあったが、自分自身が固くなり力を入れてつっぱって滑らせていたことがよくわかり霧が晴れた気がしました。リラックス/余裕がまだまだ課題であると思ひ知らされます。

一昨年、Nob さんとならんでいるところを二人合わせて 13X 才とレポートされましたが、今年は最後に残った 2 人（Shinzo さん含めると 3 人）の平均年齢が 70 となります。それでもこんなに楽しめる。老いも若きも皆さん気楽に参加してみませんか。

